

## [限定企画ツアー(2020年6月16日発)] “神様に捧げる幻のワイン”と“貴族のシャトー”をめぐる、魅惑の南仏ワインツアー

ニース(NCE)      ワイン      Tradition



(写真左) アベイ・ド・レランス修道院 (写真右) シャトー・ド・ペノティエ

南フランスの高級リゾート地、セレブの街として、映画祭の開催地として、知られるカンヌ。その沖合に浮かぶサントノラ島で、修道士が密かにつくる希少なワインを訪ねる、特別な旅をジャルパックがヴィノスやまざきと企画いたしました。 ※2020年2月13日（木）14:00に発売開始予定。

### ツアーのみどころ

※カンヌの沖のサントノラ島にあるアベイ・ド・レランス修道院で、一般に公開されていない地下の貯蔵庫などをご案内。バレルテイスティングをお楽しみいただけます

※貴族のシャトー、シャトー・ド・ペノティエでのワイナリーや庭園を見学し、ラングドックワイン委員会の会長を務める当主のマダム・ミラン・ペノティエ主催のランチをシャトー内でお楽しみいただけます

※ラングドック地方の歴史的城塞都市カルカソンの城壁内に宿泊

※アヴィニョン、ニース、リュベロン地方といった南フランスの魅力的な街を訪問

※最後の宿泊地パリでは、エリゼ宮近隣の会員制社交クラブに特別に入場。クラブ内レストランでのお食事もご堪能いただけます

※羽田⇄パリ間は、JALビジネスクラスまたは、JALプレミアムエコノミークラスでゆったりと

※日本人添乗員付きできめ細やかな旅のサポート

※ヴィノスやまざき社のフランスの専門家がワイナリーをご案内します

## サントノラ島



(写真) サントノラ島

カンヌの港からフェリーで約30分のところにあるサントノラ島は、地中海に浮かぶこの小さな修道院の島として知られます。このアベイ・ド・レランス修道院に属す20名足らずの修道士が、「労働を神に捧げる」という信念のもとに造り続けている至極のワイン、その修道院の葡萄畑を訪れる体験の旅です。

アベイ・ド・レランス修道院のワインは商業目的ではないため生産量が限られ、国外に流通しないばかりか、フランス国内でも入手困難な幻のワイン。日本では、この修道院と永年にわた

り交流をもつワイン専門店の「ヴィノスやまぎ」が、唯一、取り扱いを認められているという希少なワインです。

このカンヌに伝承する“神様に捧げる幻のワイン”と出会えるのが今回のツアー。



(写真) レランス修道院の地下セラー



近年、注目が高まっているレランス修道院ですが、地下の貯蔵庫は限られた人のみが入れる神聖な場所です。今回のツアーにご参加いただいた皆さまには、修道士による説明と案内により、その特別なエリアへ入場します。

## シャトー・ド・ペノティエ



(写真) シャトー・ド・ペノティエ外観

ラングドック・ルシヨンのシャトー・ド・ペノティエでは、ラングドックワイン委員会の会長を務める当主のマダム・ミラン・ペノティエがシャトー内でランチにご招待。



(写真) シャトー内部



(写真) ペノティエの当主であり、ラングドックワイン委員会の会長として、ラングドックワインの普及にも努めている、ミランさん



(写真) ペノティエ食事 (一例)

シャトーの美しい庭園や中世から伝わる芸術品が飾られる内部の見学とともに、シャトー・ド・ペノティエの日本ではお目にかかれない特別なワインを樽から直接お楽しみいただけるバレルテイastingなどもご体験いただきます。

ご希望の方は、特別に樽ごとワインをご購入いただくことも可能です。※お選びいただいた樽のワインを、瓶詰めして後日お届けいたします。関税などのお手続きが必要です。



(写真左) セラー (写真右) テイスティング

そのほか、ローマ時代の水道橋、世界遺産ポン・デュ・ガールや、フランスの最も美しい村の一つに登録されているダイナミックな自然景観との陶器で有名なムスティエ・サント・マリーにもご案内します。

そして最後はパリへ。皆さま思い思いのフリーな時間をお楽しみいただけるほか、旅の締めくくりとして、エリゼ宮近隣の会員制社交クラブ内レストランへご案内。特別な空間でのお食事をお楽しみください。

ほかでは体験できない特別なEXPERIENCE。ご参加をお待ちしております。

### **修道士とワインの島「サントノラ島」を訪問 魅惑の南仏ワイン紀行9日間**

出発日：2020年6月16日（火）

発売日：2020年2月13日（木）14:00（予定）

※旅行代金など、ツアー内容の詳細とご予約サイトは発売当日、当ページでご案内いたします。

ヴィノスやまざきHP：<http://corp.v-yamazaki.com/>